



1. 気象概況（中野市長丘地区気象ロボット観測データによる）

旬別 月間	上旬		中旬		下旬		月間		比較
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
2月平均気温（℃）	-1.5	-1.6	-1.8	-1.0	-0.2	0.1	-1.2	-0.8	平年比-0.4℃
2月降水量（mm）	26.5	13.0	44.0	41.4	21.5	13.3	92.0	67.7	平年比 136%
2月日照量（h）	53.3	52.5	52.6	44.4	58.2	46.6	164.1	143.5	平年比 114%

● 2月上旬気象特記

気温（平年並み）：平年比+0.1℃。氷点下 10℃以下 1 日。低温：2/1 -14.8℃等。
降水量（極多）：平年比 204%。降雨量：2/6 11.5 mm等。
日照量（平年並み）：平年比 102%。

● 2月中旬気象特記

気温（やや低い）：平年比-0.8℃。氷点下 10℃以下 5 日。低温：2/14 -12.2℃等。（2/13～16 連続-10℃以下）
降水量（平年並み）：平年比 106%。降雨量：2/12 20.5 mm等。（2/10～13 29.5 mm、2/20 9.5 mm）
日照量（やや多い）：平年比 118%。

● 2月下旬気象特記

気温（低い）：平年比-1.2℃。低温：2/22 -13.4℃。高温：2/23 8.4℃。
降水量（多い）：平年比 161%。2/20～23：合計 31.0 mm。
日照量（多い）：平年比 125%。

● 2月気象特記

気温（やや低い）：平年比-0.4℃。最低：-14.8℃（2/1）。2/13～16 連続-10℃以下等。
降水量（多い）：平年比 136%。上旬 204%等。
日照量（平年並み）：平年比 114%。中下旬晴天日多い。

● 氷点下-10℃以下：18 日（最低 2/1 -14.8℃、内訳 12 月：1 回、1 月：7 回、2 月：7 回）

● H29 生育予想（New）

残雪が多く、昨年と違い土壌水分が豊富にある。3 月の気温上次第で生育が一気に進む可能性がある。過去の調査では残雪が多い年度は生育が遅れる傾向であるが、近年の状況を加味すると意外と進む可能も？

年度	りんご開花	もも開花	プラム開花	南水開花	特記事項
H18	5/5	4/28	4/23	4/30	豪雪
H26	5/2	4/23	4/17	4/26	豪雪
H27	4/27	4/18	4/12	4/24	暖冬
H28	4/21	4/10	4/6	4/17	暖冬
H29	4/28？	4/20？	4/15？	4/25？	H26 より早く H27 より遅い？

● 品目別生産の経過・病虫害発生状況・今後の対策

- 加温ハウスサクランボ（2月末）
 - ◆ 低温積算到達：12/25 1,000 時間、1/5 1,200 時間、1/13 1,400 時間。平年比 2～3 日遅れ。
 - ◆ 被覆状況：33 棟（内訳：12 月 2 棟、1 月 10 棟、2 月 21 棟）
 - ◆ 1/14～17 の大雪により、覆被が遅れるハウスもあったが、晴れ間を見ながら覆被が進められた。
 - ◆ 1/14～各棟本格的な加温が始まる。ハウスで雪害が発生。加温 1 棟、雨除け 2 棟。
 - ◆ 初出荷予想 3/20 前後。出荷ピークは 5 月中旬となる見込み。
- ◎ 加温ハウスもも（2月末） 1 棟被覆
 - ・ 2/24 満開（昨年並） 出荷開始は 5/10 前後。

- 柿（2月末）
 - ◆ 果皮色に比べ果肉の生育が先行していた。加えて条紋の発生もやや多い傾向で、軟化によるロスが多発した。
 - ◆ カビの発生は少程度となった。カビによる返品は 5%（前年比）となった。
 - ◆ 市田柿出荷 12/1 開始。12/12 ピーク。
 - ◆ 販売情勢から後半・大口出荷者を対象に出荷調整対応。1 月末から 2 月初めにかけて販売を行った。
 - ◆ 1/14-17 豪雪によりハウス（干場）一部の倒壊被害発生。
 - ◆ 2/24 出荷終了。出荷量(前年対比)：市田柿 116%、ころ柿 154%。

- りんご
 - ◆ H28 生産量（前年対比）
つがる 86%、秋映 80%（平均糖度 13.4%）、スイート 83%（平均糖度 13.8%）、ゴールド 82%（平均糖度 14.3%）
ふじ 82%見込み（平均糖度 15.2%）
 - ◆ H29 ふじ健全花芽率は 50%前後と昨年より悪い状況。秋季の高温により褐変花芽率も高い。
 - ◆ 1/14～17 豪雪により老木樹の枝折れ被害発生。被害部からの枯れこみが心配される。
 - ◆ 二次伸長芽が非常に多い。昨秋の高温が影響か。
 - ◆ 腐らん病の発生が 2 月から目立つ。病斑部の削り取りや除去は早めに進める。
 - ◆ 老木樹を中心に枝折れが多く、29 年度の収量に影響が出る模様。

● 1/14～17 集中豪雪被害状況（2/1 現在）

品目名	施設	ほ場数	面積（a）
ぶどう	平棚・ハウス	78	753
サクランボ	雨よけアーチ	6	6
プラム	平棚	1	3
花・野菜等	ハウス	13	36
合計		98	798